

装着者の毎日の快適性と保護という観点から、この種の装具がずれ易いかどうかを知ることは重要である。

ソフテックの適正なフィッティングは、ベクトルに基づく志向性を持ち解剖学的輪郭に編まれたニットと、装具の表面が広く下肢と接触することで確実なものとなっている。

膝蓋骨の粘弾性インサート開口部へのポジショニングが、正確な位置での装具装着を確実にする。(図④・⑤)



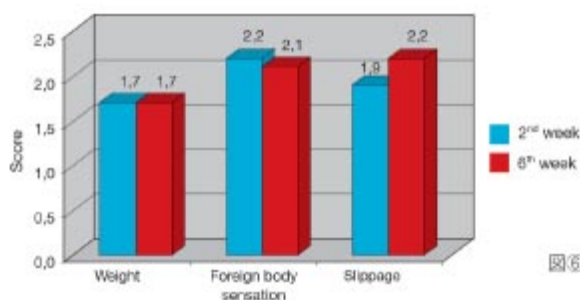
図④



図⑤

2週間後の臨床データ調査結果は、装具のずれについての快適性において、装着者の非常に高い満足を示している。平均スコアは1.9である。(図⑥)

Evaluation of wear comfort  
(rated on a scale of 1 to 6)



図⑥

わずかに2、3例が、創部周辺の圧集中と熱発生増加を訴えた。大きな皮膚の反応は観察されなかった。装具の重量については被験者は軽いと考えている。

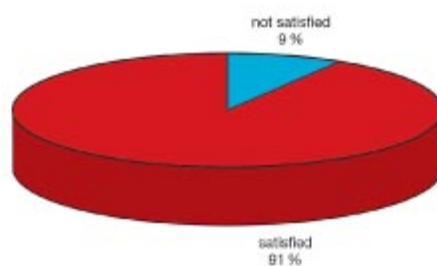
最後に全般の評価(満足/不満足)については、2週間後89人の装着者(89%)が満足を示した。

6週間後、この総数は90人(93%)に高まっている。

残りの7名(7%)は装具に満足していない。

よって、総合的満足の平均は91%である。(図⑦)

Summary evaluation by patients



図⑦

## ソフテックは典型的な膝装具の要件を満たしている。

- 膝関節動作の安定化とコントロール
- 荷重の吸収と広い接触面への伝達
- ストラップ方式による個々の調節
- 筋動作を妨げないこと
- ROM制限

## 評価

シュツツガルトスポーツクリニックにおいて、ACL再建術の術後管理中の100名のソフテック装着者に、装具の評価を尋ねた。

被験者の評価は、術後2週目及び6週目の最終日、詳細なアンケートによる追跡調査により行った。装着者の91%が総合的に装具に満足した。被験者は装具を容易に受容した。安定性、装着時の快適性、製品取り扱い方法は、非常に良い、若しくは良いと評価された。

この膝装具は、良好若しくは非常に良好な安定と、制御された可動性を提供し、十字靭帯再建術の術後管理において、良好な結果をもたらす。

ソフテック装具は、他の硬性装具がもたらす必要条件を満たす。加えてソフテック装具は、より広い皮膚表面への接触と機能筋群への圧迫により、筋のダイナミクスを強化する。高張らない形状、軽量、快適な装着感により、ソフテックの総合的な受け入れは良好である。